

# 会派による政務活動報告

## 東日本大震災・6年。復興と現況、現地に学ぶ事

視察地 福島県岩瀬郡天栄村、福島県環境創造センター  
 視察日 平成29年3月23日・24日  
 会派 公明党、民進党・無所属クラブ、清風クラブ

天栄村は福島県中通り南部に位置し米等のブランド化に取り組み、農業を基幹産業とした村です。  
**東日本大震災での被害**  
 震度6強の地震でインフラは壊滅的打撃を更に受け福島第1原発の事故

で、放射性物質による被害を受けました。

放射線物質という未知との闘いの中、研究と手探りの挑戦を繰り返し、土壌汚染が奇跡的に改善され、安心して購入してもらうため、検査体制を

整備し、データで裏付けを取っています。

このような取り組みの中でも、風評被害による価格下落が続いており、風評被害の払拭へのお手伝いが求められています。  
**環境回復・創造の拠点**

福島県環境創造センターは、環境回復に向けた総合施設です。交流棟では展示や体験を通し、放射線等に関し、分かりやすく学べます。正しい理解が風評被害払拭への第一歩となるはずで

す。各地の復興への取り組みから学び、町に活かす。新たな災害にも対応した取組みを研究し、形にしていきたいと思



環境創造センター・交流棟（コミュニティセンター）にてレクチャーを受ける

## 手話言語条例

視察地 富士見市  
 視察日 平成29年5月9日  
 会派 日本共産党

手話を言語として普及させる「手話言語条例」を制定する動きが広がっています。  
 伊奈町でも3月議会で、大島町長が制定する方針を示したため、すでに制定し事業をすすめている

富士見市で視察研修を受けました。

富士見市では、聴覚障がい者の方や手話通訳者、手話サークルなど関係者、行政担当職員で検討委員会を設置し、6回にわた

た意見等を参考に制定しました。

また「手話言語条例」を考えるシンポジウムを開催し、聴覚障がい当事者、教育関係者、手話に関心のある住民、行政のそれぞれの立場の体験談から、手話言語条例制定後に目指す地域社会について話し合ってきました。

市役所での研修後、手話通訳事務所を通訳者の小寺ひろ美氏より直接話を伺う機会を得ました。

三芳町と共同で手話通訳事業をおこなったことで、利用者が増えるなど双方にメリットがあったことが聞けたことは貴重でした。



手話で I LOVE YOU

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。